

NORITSU

face the NEXT™

いきいきとした最良の人生に“エール”を
業界初の予測型見守りシステム
「ネオスケア」発売

介護ロボット等展示説明会
2015年12月17日

NKワークス株式会社
ノーリツ鋼機グループ

1. ネオスケアの紹介
2. ステージ1（今を見守る）
3. ステージ2（これからを見守る）
4. 実証試験結果

3. ネオスクアの紹介 ~今とこれからを見守る~

コンセプト

Stage 1

1

今を見守るステージ

転倒、転落をさせないように見守る

毎日が安心



Stage 2

2

これを見守るステージ

生活動作の低下防止を見守ることで社会参加を実現

いつまでも笑顔



システム構成

居室

有線LAN

ネオスクア

WI-FI
ルーター

各現場

モバイル端末

DATAセンター

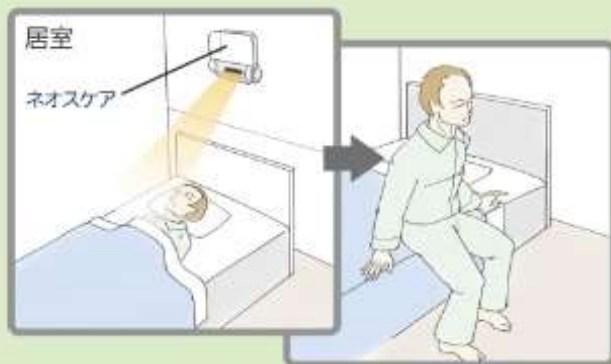
サーバーPC



5. ステージ1（今を見守る）

1 動作を検知できる

●危険な予兆動作を検知できる。



2 通知を受けて画像確認できる

●通知を受けると簡単操作で介護される方の様子をシルエット画像で確認できる。



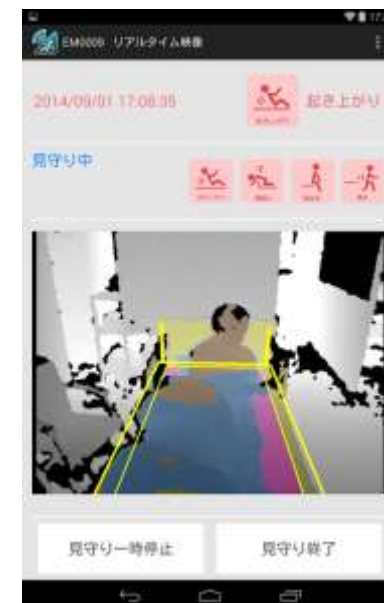
3 人の目でも確認できる

●リアルタイム映像により訪室、巡回のコントロールが可能になる。



4 履歴が残る

●蓄積したデータによりADL(日常生活動作)のチェック、事故原因の特定ができる。

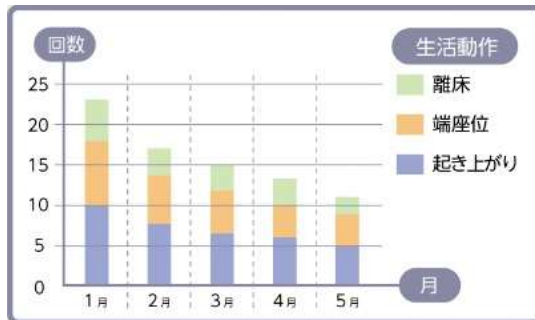


(通知画面)



(履歴映像)

6. ステージ2（これからを見守る）



● 生活動作の履歴による生活不活発病の早期発見

- ・生活動作の履歴から「生活不活発病」を早期できる
（共同研究：産業技術総合研究所 大川弥生医学博士）
- ・日常生活動作（ADL）から最適なケアプランを作成できる
- ・就寝時の睡眠状態を把握できる



● 高齢健常者の異常発生を検知 ※2016年実装予定

- ・居室内や共用スペースでの異常発生を検知できる
（異常発生：転倒、体調不良によるうずくまり、横たわり）
- ・就寝時の呼吸状態（異常、無呼吸症候群等）を把握できる



● 介護スキルと意識の向上

- ・介護スキルを映像にて把握することができ、教育に活かせる
- ・介護の見える化により、家族に安心していただける
- ・転倒・転落事故発生時の迅速な処置と原因分析ができる
- ・ロボット介護機器による見守り品質レベルを向上できる



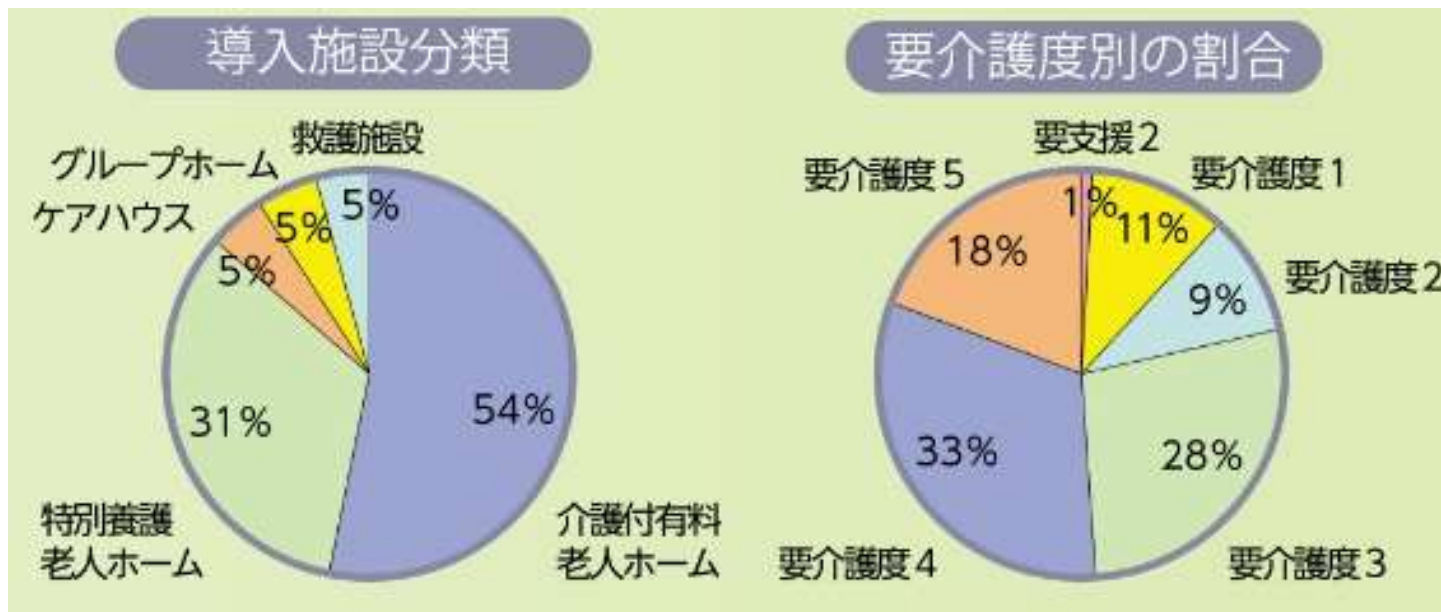
● 遠隔統合管理を実現 ※2016年実装予定

- ・夜間の見守りを集中管理することで経費削減を実現できる
- ・施設内や複数の施設間における見守り品質を均一化できる

7. 実証試験結果（実施概要）

経済産業省 ロボット介護推進プロジェクト

項目	内容	備考
試験期間	2014年10月～2015年1月	期間中の最大3カ月
施設数	22施設	1施設平均5台
対象者数	106名	期間中の最大3カ月

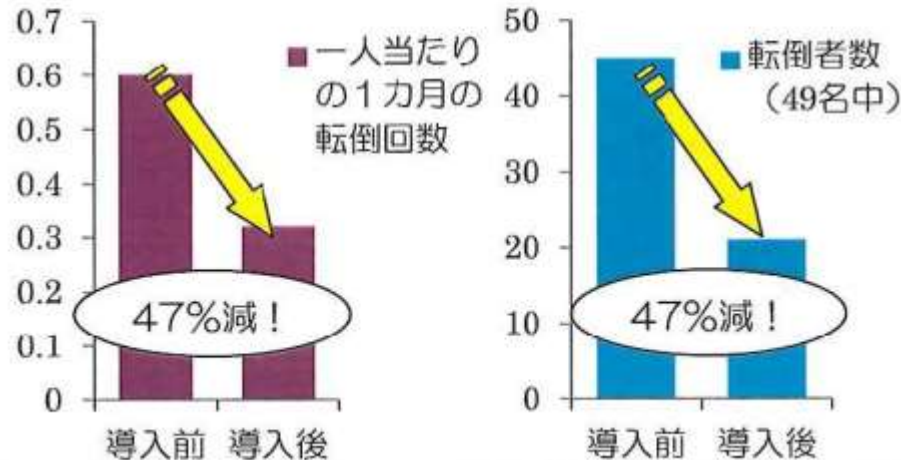


7. 実証試験結果 (Data)

データが示すNeos+Careの効果

転倒回数が47%低減

10施設、49名（要介護度4、5かつ認知症ありの方が中心）を対象にNeos+Care導入前導入後の転倒回数を調査したところ、**転倒の回数が半分に減りました**。導入前1年間で9割以上の方が転倒されていましたが、4カ月の調査期間中、28名の方が1度も転倒されませんでした。（H26年度ロボット介護機器導入実証事業調べ）

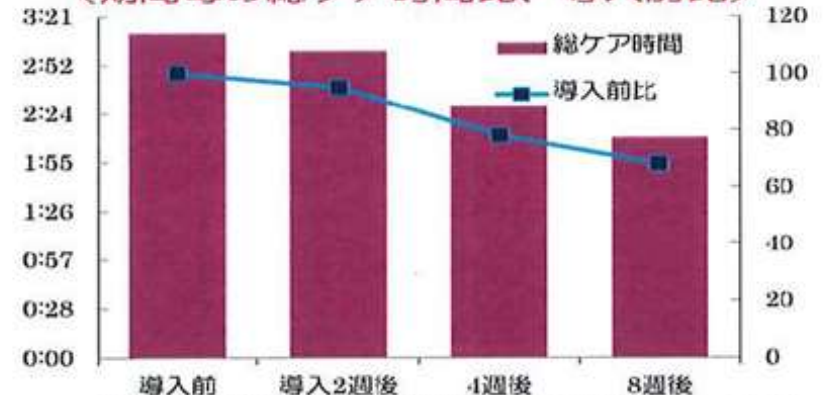


危険動作の早い段階での検知

危険因子(車椅子位置等)の早期発見

ケア時間減少の効果

(期間毎の総ケア時間比、導入前比)



- ・導入後4週間：2割減（約30分減少/日）
- ・導入後8週間：3割減（約60分減少/日）

ネオスケア導入前に比べて**業務負荷の大幅な減少**が確認されています。（H26年度ロボット介護機器導入実証事業調べ）

ロボットの目(精確な検知)

人の目(映像確認)による二重チェック



経済産業省ロボット介護機器開発・導入促進事業
＜見守り支援機器（介護施設型）＞

優秀機器認定